

セルフケア個別栄養最適化による健康実現ビジネスモデルの構築

代表機関：株式会社ウェルナス

共同研究機関：国立大学法人信州大学

実施年度：2022年度～2024年度（フェーズ1～フェーズ2）

キーワード：個別栄養最適食、ヘルス・フードテック

研究代表者：小山正浩



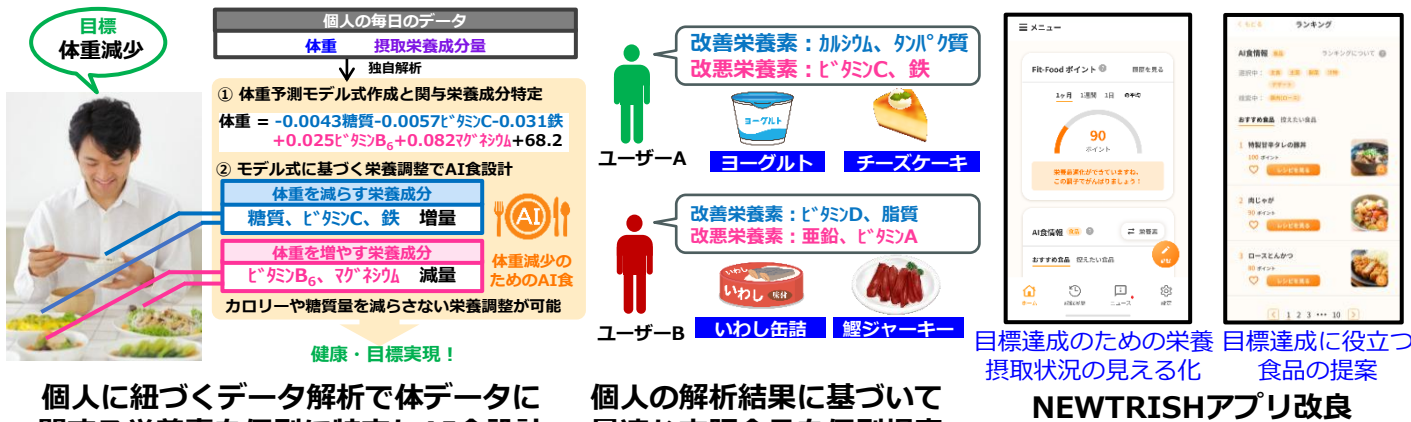
個別栄養最適食（AI食）技術は、個人の体と食データの解析に基づいて体データに關与する栄養素を個別に特定し、健康・目標実現のために最適な食事を提案する「個人データ駆動型」食ヘルスケアサービスを提供でき、従来の規格基準型のサービスより高い効果や継続性が期待できる。本事業では市販食品を活用したAI食ビジネスの実現を目的にアプリ・サービス開発や実証試験を実施した。

背景・目的 一人ひとりに食の効果を届けるための「個別栄養最適食（AI食）」

既存の食ヘルスケアサービスは平均化された科学的エビデンスに基づいており、個人の体質・生活習慣等に合わせた対応ができないため、個人に効果をもたらす食品の選択や実効的な健康を実現できない。本事業では、個人の食と体のデータ解析に基づいて健康・目標実現のための食を個別提案する食の個別栄養最適化（AI食）技術を搭載したAI食サービスのMVP※アプリ「NEWTRISH」を用いて、市販食品を取り入れたAI食による健康実現のための技術・サービス開発を目的とした。※Minimum Viable Product：実用最小限の製品

研究成果 市販食品を取り入れたAI食で便利に健康・目標実現

NEWTRISHのUI/UXを改良し、誰でも自分に合った食品から食べたいものを選択して健康・目標実現を目指すことができるAI食サービスを設計した。フェーズ1で確認したNEWTRISHユーザー個別に提案した市販食品の高い訴求力に基づいて、食品事業者と連携するためのNEWTRISHデータ活用方法の開発や市販商品提案シミュレーションを実施した。その他、NEWTRISHを用いたAI食の効果検証試験やユーザー獲得のための情報発信方法の構築を行い、事業化のための新規事業実施体制を整えた。



個人に紐づくデータ解析で体データに関する栄養素を個別に特定しAI食設計

個人の解析結果に基づいて最適な市販食品を個別提案

今後の展開方向 誰でも美味しく無理なく継続できる健康実現ビジネスを展開

- ・ NEWTRISHのマネタイズ検証を行いProduct Market Fitを達成、ビジネスモデルを確立
- ・ 食品事業者との連携により市販食品をユーザー個別に提案するOne-to-Oneマーケティング事業を実現
- ・ 多様な市販食品の提案やデータ入力簡易化で利便性を高め誰でも継続できるサービスとして普及

<代表機関概要> 株式会社ウェルナス

■ HP : <https://wellnas.biz/>

■ 所在地 : 〒166-0003 東京都杉並区高円寺南1-28-5

■ 連絡先 : info[アット]wellnas.biz [アット]を@に置き換えてください。 2025年3月31日時点

Wellnas